

# 短期経理・介護保険の財政状況

短期経理では、組合員とご家族のみなさまの医療や出産・休業・災害に係る給付と、高齢者医療制度への拠出金等の納付を行っています。その財源は、組合員のみなさまと地方公共団体からお預かりした貴重な掛金と負担金により賄われていますが、その財政状況はたいへん厳しいものとなっています。

組合員数は16年連続で減少（金沢市の加入時を除く）しており、また、掛金・負担金算定の基礎となる組合員の平均給料月額も、平成20年度以降減少傾向にあります。 **グラフ①**

平成25年度におきましては、財源率を大幅に千分の6引き上げさせていただき、財政状況の安定化を図ることとしていましたが、昨年7月からは国からの要請に基づいた給与減額措置が実施されたことに伴い、掛金・負担金が当初予算と比較して2億円近くの減収となる見込みです。

また、医療技術の進歩による医療費の高度化等により本人・家族とも1人あたりの医療費は増加傾向であることに加え、いわゆる「団塊の世代」の方々ですでに65歳に達しており、今後急速に高齢者医療制度への拠出金が増えることが予想されています。 **グラフ②**

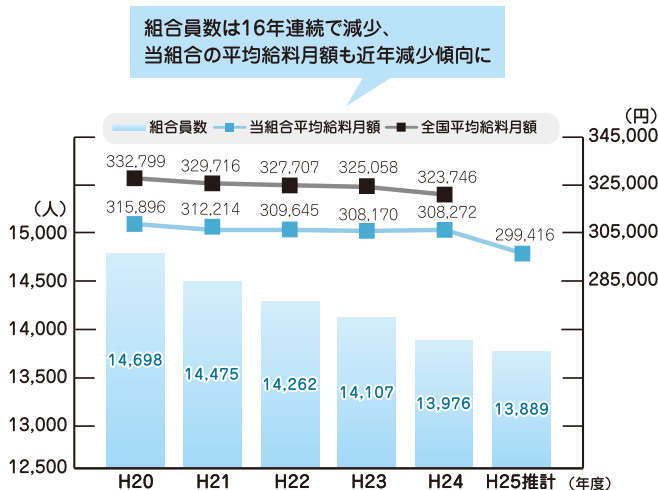
このような状況の下、今年度の短期経理の収支状況について上半期の推移をもとに試算を行った結果、5億円以上の赤字となるたいへん厳しい見込みで、来年度も財源率を引き上げざるを得ない状況となっています。

一方、介護保険につきましても、当初予算と比較して約600万円の収入減になるものと見込んでいますが、前年より繰越した積立金を取り崩して対応したいと考えています。

組合員のみなさまには、この短期経理・介護保険の財政状況を何卒ご理解いただき、今後も健康の保持・増進に努めていただきますとともに、適正受診のご協力をお願いいたします。

グラフ①

## 組合員数と平均給料月額の推移



グラフ②

## 高齢者医療制度への拠出金の推移

